

まちづくりのひろば

No. 33

発行：財団法人 中央区都市整備公社
〒104-0061 中央区銀座1-25-3
TEL 03-3561-5191 FAX 03-3561-5192

昨年4月から今日までの築地場外市場での主なニュースをご紹介します。

『築地市場移転問題』について中央区が要望！！

去る3月11日、東京都議会において築地市場の豊洲移転関係経費を含む中央卸売市場会計予算案が可決されました。この間、本年1月には、区民や飲食事業者、区議会、行政で組織する「新しい築地をつくる会」から都知事に対して築地地区の将来についての考えを質す申し入れが行われました。

また昨年10月には中央区長から都知事に対して、都議会や市場関係者等と十分な協議を行い、早期に真の解決を図ることを求める要望書が提出されました。この要望書には、万一市場が移転する場合には築地が果たしている役割を引き継ぐためのプランが添えられています。このプランは、築地の賑わいの源となっているプロの買い出し需要に引き続きよう工夫されています。このプランの実現は、多くの都民に親しまれてきた「築地ブランド」を継承していくものであり、今後の展開が期待されます。



中央区から提出された「場外市場と一体的なにぎわいを形成するにぎわい施設」イメージ
出典：中央区ホームページ

にぎわい施設を中心とした様々なプログラム

にぎわい施設の整備のほか、「場外市場と連携したにぎわい形成」や「波除通りのシンボルロード化」、「歴史と文化の継承ゾーン」、「既存駐車場の活用」など、築地場外の将来のまちづくりに対する具体的な考え方が示されています。

モノの流れとヒトの流れ

にぎわい施設には青果や鮮魚仲卸のマーケットゾーンが示され、豊洲とのスムーズなモノの流れが提案されています。また、エリア全域に賑わいをもたらすよう、最寄り駅やにぎわい施設と場外市場との間の、買出人や観光客などヒトの流れにも配慮されています。

[中央区 市場移転 要望書](#)

[検索](#)

※要望書とにぎわい施設のイメージ図は中央区ホームページから閲覧できます。

click

築地場外市場の交通量調査を実施しました。

平成 22 年 11 月 8 日（月）、13 日（土）の 2 日間、築地場外市場の各地点で、歩行者・自転車の交通量や観光バス駐車場の利用実態などの調査を行いました。歩行者・自転車の交通量については、平成 14 年度にも調査を行っており、今回の調査との比較も同時に行っています。

今後の築地場外市場の継続的発展と商業振興を図っていくための基礎資料として、現在公社では取りまとめを行っています。今回はその調査結果と分析の概要についてご報告いたします。

●調査概要

調査日 平日：平成 22 年 11 月 8 日（月）、土曜：平成 22 年 11 月 13 日（土）

(1) 歩行者・自転車交通量調査

築地場外市場地区内における 22 箇所の交通量調査（6 時～ 15 時の 9 時間）

(2) 観光バス乗降調査

市場橋公園の観光バス置場、晴海通り及び新大橋通りでの乗降バスの台数調査（9 時～ 15 時の 6 時間）

● H22 年度交通量調査結果（平日）



● 今回の調査でわかったこと

場外市場に訪れる人数

- ・ 平日の来街者数は、のべ約 2 万 4 千人です。
- ・ 土曜の来街者数は、のべ約 3 万 9 千人です。

平日と土曜の比較

- ・ 築地 4 丁目付近を中心に、土曜は平日の 1.5 倍程度の来街者数となっています。
- ・ 平日のピークは 12 時頃です。土曜は平日よりピーク時間帯が若干早くなります。

H14 年度調査との比較

- ・ H14 年度と比較して、1.5 倍以上の来街者数となっています。
- ・ 特にもんげき通り及び波除通りの増加が著しく、2 倍を超える地点もありました。

観光バス

- ・ 市場橋公園の観光バス駐車場では、平日 26 台（約 720 人）、土曜 34 台（約 670 人）の利用がありました。
- ・ 平日、土曜共に午前 10 時頃がピークの時間帯となっています。

交通量調査にご協力いただきありがとうございました。